

親愛なる姉妹とアソシエートの皆さん

今日は！日本でのご訪問2019の集まりからの経験を、皆さんと分かち合うための時間をこうしてとることができるのは、何という喜びでしょう。

2019年7月21日の日曜日、私たちは本会の日本人の姉妹たちと共に筑波小教区の教会へ行き、ごミサにあずかりました。そこは、彼女たちが毎週日曜日通っている教会です。

教会へは、皆揃って徒歩で行きました。歩いている間は話したり、景色を楽しみました。静けさを聞き、清潔な道に感心しました。自転車が私たちのそばを歩いていった時は、少し怖かったです。自転車に乗ることは、日本人の習慣と文化の一部です。

私たちはごミサの時の歓迎、人々の喜びと熱狂、神父様からの歓迎の言葉、集会での人々の敬意、歌、朗読、日本語での共同祈願などに感動しました。理解はできませんでしたが、ミサの進行について行くことはできました。また、ほかの兄弟姉妹たちとの分かち合いのうちに、聖霊が私たちを一致させてくれる方法に感動を覚えました。



ごミサの最後に人々が私たちのところにやって来たとき、彼らの姉妹たちに対する認識と愛情を見て取ることができました。

ごミサの後、フィリピン、マレーシア、そしてベトナムから来ている若い外国人たち（20歳～25歳）のグループと、大変楽しい集まりの機会を持ちました。皆で昼食を食べました。昼食の間自己紹介をし、どこから来て、何をしているのかなどについて話しました。そして、彼らの経験を分かち合いました。これらの若者たちが現在立ち向かっている挑戦や、日本へ来た時に直面した困難について聞くこと、そしてこの小さなコミュニティを同伴している姉妹たちと共に日本の文化で生活することによって見つけた喜びや希望、夢、そしてお恵みについて聞くことは、大変興味深いものでした。ここにいる理由は、ほとんどの人が家族を支えるため、そして勉強をするためです。

私たち姉妹は、自分たちの国での様々な経験について分かち合いました。各管区や地区から一人の代表者が自分の国の状況や、現在起きていること（政治的、経



済的、社会的に) について説明しました。後に姉妹たちは、自分の修道生活への召し出しについて話しました。皆が注意深く聞いていました。

愛情と喜びと共に別れを告げ、またお互いに会えることを願いました。集合写真も撮りました。修道院へ戻ってきたときには、この経験をしたことで、幸せと感謝の気持ちで満たされていました。

私たちがこの美しい経験を分かち合うことができるようにして下さった日本の姉妹たちに、重ね重ねお礼申し上げます。

シスターSofía Barrientos Izaguirre、シスターViolaine Paradis

